

ありあけの煙たより



**「租税教育推進校等表彰」制度において
国税庁長官より「感謝状」贈呈**

令和6年11月13日に、
贈呈式が執り行われました。

「租税教育推進校等表彰」制度とは、租税教育の推進及び租税教育推進のための基盤整備等について、他の模範となる活動を行うなど、特に功績のあった学校、教育委員会及び関係民間団体等に対し感謝状を贈呈し経緯を表するとともに、租税教育関係者の租税教育に対する理解の向上を図ることを目的とした表彰制度です。令和6年度の「国税庁長官表彰」は、全国で12の関係民間団体が表彰され、その中の1つに公益社団法人大牟田法人会が選ばれました。

特集記事 「租税教室」

「租税教育推進校等表彰」制度に係る感謝状贈呈式

令和6年11月13日（水）、大牟田法人会主催の「税を考える週間」協賛講演会の開演前に、標記贈呈式が執り行われ、国税庁長官より大牟田法人会に対し感謝状が贈られました。当日は、福岡国税局長大石一郎様より、当会井形会長へ感謝状が伝達されました。

この受賞にあたっては、青年部会が、長年に亘り活動している「租税教室」（平成20年～）に対し評価を頂いたもので、贈呈式では、青年部会を代表し萩島青年部会長が副賞をいただきました。また、当日は、租税教室開始時より活動された歴代の青年部会長等も駆けつけ、共に受賞を喜びました。



左：大石国税局長
右手前：井形会長
右奥：萩島青年部会長



【後列左より】田島前青年部会長、藤井元青年部会長、宮崎元青年部会長、永松副会長、大塚副会長
【前列左より】大石福岡国税局長、井形法人会会長、萩島青年部会長、向井大牟田税務署長

「租税教室」の実績

【概 略】

平成19年 実施に向けた準備。
平成20年 小学校5校実施。同年より「税に関する絵はがきコンクール」と「税金〇×クイズ」も始動。
平成21年 大牟田税務署管内租税教育推進協議会設立（5月）。全国青年の集い「岩手大会」の租税教育プレゼンテーションにおいて「最優秀賞」を受賞。
平成23年 実施校が、20校になる。
平成24年 管内の全小学校で租税教室を実施。
平成26年 講師・アシスタントの数が30名を超える。
平成27年 中学校での「租税教室」開始。
平成30年 実施校が小学校・中学校合わせて30校になる。

令和2年 コロナウイルスの影響により全校中止。管内全小学校に税の児童図書を寄贈。
令和3年 コロナウイルスの影響により、2/3以上の学校で中止。模擬授業を撮影したオリジナルDVDを制作。中止となった学校へ配付。
令和6年 講師の育成に力を入れ、実施回数をコロナ前の数に戻す。令和5～6年で新人講師等15名増員。

【実 績】

・実施回数	延べ	小学校： 365回	中学校： 14回
・参加人数	延べ	小学校：12,723人	中学校：1,094人
・講師等の数	合計	77名（青年部会OB含む）	

「租税教室」を振り返って（歴代部会長対談）

参加者 7代目：宮崎 智、8代目：藤井 達也、9代目：萩島 造、10代目：田島 一豊、11代目：萩島 博 敬称略

——「租税教室」を始めるきっかけを教えてください。——

宮 崎：平成19年の全国青年の集い（愛媛大会）に参加したのがきっかけです。全国大会当日に部会長サミットが開催され、それに参加していた故江口和彦部会長（当時）（以下江口部会長）から、会場外で終わるのを待っていた私たちに会うや否や「来年度（平成20年度）から、租税教育に関するプレゼン大会ばするって発表があった。租税教室とか絵はがきコンクールばしよる単位会があるらしいけん、うちも何なっとなしてプレゼン大会に出場するばい！」と話し始めました。



宮崎 元部会長

——いきなりですか？——

宮 崎：いきなりです。物産ブースで名物を食べながら待っていただけなので、話しがまったく見えず「何ねそれは？」から始まり押し問題のすえ、結局彼に押し切られた形で始まりました。

藤 井：何ができるか？から始まったので「租税教室」「税に関する絵はがきコンクール」「税金クイズ」を同時期にスタートする事になり「なんもかんもなかった」のは覚えています。

宮 崎：江口部会長は、平成20年の全国大会に参加するつもりだったので、全国大会から帰り、急ピッチで準備にあたりました。しかし、よくよく確認すると、局連単位で1単位会しかエントリーする事ができず、20年度大

会に参加する単位会は既に決まっていた、しかも、21年度大会も実は別の単位会（久留米法人会）に内定していると言われ、江口部会長が久留米の部会長に直接掛け合って何とか出場の権利を手にする事ができました。

——かなりのスピード感ですが、その分苦労されたと思います。当時大変だった事を教えてください。——

藤 井：今でこそ、全体の半数以上の小学校の講師を青年部会員が担っていますが、当初は税の専門家でもない自分たちが「租税教室」の講師をする事を承諾してくれる学校を探すところから始まりました。PTA関係や交流のある校長先生に直接お願いに行き、20年度に5校の租税教室をする事ができました。夏休み前に第1回目の「租税教室」の講師を自分がする事になり、とにかく緊張で汗びっしょりになったのを覚えています。



藤井 元部会長

宮 崎：経営者として、法人会が講師をするからこそ伝えられる事があるの思いから、毎回4～5人の部会員が同行し、シナリオを何度もブラッシュアップさせていきました。合わせて「絵はがき」の募集・審査に展示、各市のお祭りでの「税金クイズ」だけでも大変でしたが、平行しながらプレゼンの資料作成といった具合に、全て初めての事業を同時進行していたので、休日も打ち合わせをしていました。

——租税教育推進協議会(※1)(以下、租推協)設立の経緯をお聞かせください。——

宮 崎:自分たちで租税教室の実施校を探すのにも限界がある事を痛感した江口部会長が、平成20年8月の親会の理事会の席で、行政・教育委員会・学校長の協力を得るために租推協設立の必要性を訴え、板床会長(当時)にも快諾をいただき、税務署の方々も脅威のスピードで各機関と調整してくださり、1年も経たない平成21年5月に大牟田税務署管内租税教育推進協議会が設立されました。

※1 児童及び生徒が、租税について正しい知識と理解を深めるため、税務署、県税事務所、市の税務関係者と教育関係者(教育委員会・校長会)及び租税教育に賛同する関係団体(税理士会、間税会、法人会等)が互いに協力して租税教育の推進に寄与する事を目的に活動する協議会の事。

——大牟田法人会は、10年以上に亘り年間30校近くの租税教室を実施していますが、これは全国的にみても稀だと伺っていますが。——

荻島造:他の法人会の部会長と話をしていても実施校数の多さに驚かれます。

荻島博:今も部会長サミットなどで、年間の実施校数を話すとびっくりされます。他の単位会は、講師のなり手というか講師の数の確保が難しいようです。

荻島造:実施校数と講師の数には自信があったので、全法連に役員出向していた時に、青年部会員の新規加入数の表彰だけではなく、租税教室の実施校数が多いところも表彰して欲しいと提案した事もありました。



荻島造 元部会長

——講師はどのように増やしていかれたのですか？——

藤 井:最初の方は、半ば強制ですよ。「やってみると分かんけん、1回してみんか」みたいな。それと、いきなり講師ではなくて、アシスタントとして付いてきて貰い、次から講師をする流れをつくりました。

宮 崎:堅苦しく考えずに、ずっとアシスタントだけでもいいよ。と最初のハードルを低くしてまず参加してもらう事も。あと、協力してくれそうなOBに声をかけると二つ返事で講師をしてくださる先輩方もいて、講師が増えるまでの数年間は本当に助かりました。

田 島:自分が青年部会に入った時は、入会と講師がセットでしたよ…(苦笑)。

荻島博:中にはPTA会長として租税教室を見学し、活動内容に感銘を受けて法人会に入会した部会員もいます。



田島 前部会長

——平成26年から中学校での租税教室を始められていますが、どのような流れで始める事になったのですか？——

藤 井:確か、全法連から中学校もという話が出たような記憶があります。当時、大牟田税務署管内で中学校の租税教室は実施されていなかったで、久留米税務署の広報官の租税教室を久留米市内の中学校まで4~5人で見学に行きました。

荻島造:見学の帰り道、経営者として子どもたちに将来の希望を持ってもらえるような内容で終わりたいとの話になり、数日後に集まり、シナリオを作成しました。

田 島:国の財務状況の円グラフを各市の財務状況に変えるなど、税の使い道を身近に感じる内容を盛り込みました。

荻島造:ただ、中学校の講師のなり手が増えないのが課題で、今年度の中学校もOBが講師を務めています。

——令和に入ると新型コロナウイルスの影響で、思うような活動ができなかった時期があったと思いますが、その間どういった活動をされましたか？——

荻島造:令和2年度は、緊急事態宣言などもあり、4月下旬には全校中止が決まっていた。とは言え、新年度の租

税教室に予算がついているので、何かに役立てたいと思い、税に関する児童図書を2種類選び、管内の全小学校に寄贈しました。寄贈にあたっては、各市の市長若しくは教育長へ、直接手渡しする事にしました。また、寄贈の様子を地元新聞社に取材してもらい、租税教室の様子などを写真を使った資料で説明し、租税教室を通して法人会のPRを行いました。しかし、法人会の事や租税教室の事などあまり知られておらず、PR活動の重要性を感じました。

田 島:翌年度は、租税教室の日程表も組まれ、担当も決まっていたんですが、コロナの感染者が増えた事から1学期の中止が決まりました。

荻島造:そこで、青年部会で租税教室のDVDを作成し、租税教室が中止になった学校に配付する事にしました。シナリオもDVD用に変更し、ベテラン講師2名で教室に見立てた授業を行い、数台のカメラで撮影、編集し、全小学校分と新人講師の研修用も含め80枚は製作したんじゃないでしょうか。

——その時々で工夫しながら、続けてこられた事が分かります。沢山の租税教室をした中で、印象に残っている出来事があれば教えてください。——

藤 井:授業参観になる事を事前に教えて貰えず、教室に入るまで知らなかった事もありました。自分はアシスタントでしたが、講師は突然の事で焦ったと思います。

田 島:校長先生が、授業が始まる前のあいさつの時に、私たち講師の紹介をしてくれたところまでは良かったのですが、「今日は税金のお話をさせていただきます。みんなが学校で使っている机やイスも税金で買われていて、校舎や体育館、道路や橋も…」みたいに、税金の話を始められた時は、全部言わないで〜と焦りました。

——みなさん10年以上講師をされている(されていた)訳ですが、長く続けている理由や魅力を教えてください。——

藤 井:この事業を立ち上げた使命感ですかね。

荻島造:社会貢献でしょうか。

荻島博:租税教室の時に「街でおっちゃんを見かけたら、税金のおっちゃんて声をかけてね」って必ず言うのですが、色んな子どもが声をかけてくれます。終わったあとも続く子どもたちとのコミュニケーションが楽しいですね。

田 島:達成感です。感想文などを読むとやってよかったと感じます。

——今度の活動について抱負などがあれば聞かせてください。——

荻島博:今は、小・中学生の租税教室をしていますが、年齢的に税金を近く感じる高校生の租税教室にチャレンジしたいです。ここ1~2年は特に新人講師(2年で15人増)も増えて、現役の部会員だけで年間30回近くの租税教室ができています。租税教室を続けていくためにも青年部会の活動をより魅力的なものにして、楽しく参加できる雰囲気を作っていきたいと思います。



荻島博 部会長



税を考える週間

国税庁では、広く国民各層・納税者の方々へ、より能動的に税の仕組みや目的等を考えていただき、国の基本となる税に対する理解を一層深めていただくとともに、税務行政に対する理解及び納税意識の向上を図る事を目的として、毎年11月11日から17日までの一週間を「税を考える週間」と定め、各種の広報・広聴活動を行っています。

令和6年度 高校生による「税に関する作文」(入賞作品)

大牟田税務署では、「税を考える週間」の一環として、管内の高校生を対象として「くらしを支える税」をテーマに掲げ、「税に関する作文」の募集を行いましたところ、470人(5校)の応募があり、このうち次の方々が入賞されましたので作文3点をご紹介します。

なお、福岡国税局長賞は、福岡国税局管内応募者数23,485人の中から、5人が選ばれています。

【福岡国税局長賞】

「図書館から考える税」

福岡県立伝習館高等学校
渡邊 麻唯さん



福岡国税局長表彰
福岡県立伝習館高等学校 渡邊 麻唯さん

【大牟田税務署長賞】

「『税金』に感謝」

福岡県立三池高等学校
荒尾 日佳里さん



大牟田税務署長賞
福岡県立三池高等学校 荒尾 日佳里さん

【福岡県大牟田県税事務所長賞】

「夢を支える税金」

福岡県立伝習館高等学校
田毎 綾花さん



福岡県大牟田県税事務所長賞
福岡県立伝習館高等学校 田毎 綾花さん

【福岡国税局長賞】

「図書館から考える税」

福岡県立伝習館高等学校 渡邊 麻唯さん

税の役割とは何か。税金が私たちの生活でどのような役割を担っているのか。私がそのことについて考えるとき、まず初めに思いつくのは図書館についてだ。

私は幼いときから姉について行って、市立図書館によく通っていた。そうしているうちに、いつの間にか本が好きになり、小学校に入学してからは小学校の図書室にほとんど毎日通うようになった。小学校では、仲のいい数人の友人と同じ本を読み、本に登場するキャラクターの真似をして、ごっこ遊びをしたりした。高学年になると、競い合うように字が小さくて分厚い本を読んで、その本についての話を盛り上がったものだ。注意深く周りを見てみると、図書館には色々な人がいる。お年寄りや小学生、大学生や小さな子供を連れのお母さん。彼らはそれぞれ全く違う人だ。持っている知識も、経験も、考え方も、性格も、好きなものも、どのように生まれ、どの

ように育ったのかも、今、どのような環境で生きているのかも、どれくらいお金を持っているのかも。しかし、図書館では、そんな人たちも同じ本を読むことができる。私はこのことから、税とは、誰もが同じスタートラインに立てるようにする手助けをしてくれるものでは無いかと思う。小学生のとき、私は数人の友人と同じ本を読んで、ごっこ遊びをした。字が小さくて、分厚くて、ずっしりと重い本を、競い合うように読んだ。私と友人たち。それぞれ家庭環境は違う。読みたい本を好きなだけ買ってくれる家もあるかもしれないが、全員がそうとも限らない。前述した、「字が小さくて、分厚くて、ずっしりと重い本」ともなれば、なおさらだ。小学生のお小遣いで買えるとも思えない。あるいは、図書室がなければ、出会わなかったような本もあっただろう。友人たちと私が、ごっこ遊びをするほど夢中になれるような本に出会い、全員が同じ本を読めたかどうかとも分からない。図書室は、税は、同じ本を、自分の望むだけ読める、同じ環境を私たちに与え、同じスタートラインに立つ手伝いをしてくれたと思うのだ。

税は、境遇も、背景も、裕福さも違う人たちが、なるべく同じ、最低限の豊かさを享受できる手伝いをしてくれると思う。私はそのことを忘れないようにして、これからの生活を送りたいと思う。また、税はたくさんの人の努力の結晶でもある。税や、税を払ってくれている多くの人にも感謝していきたい。そして、税によって、全ての人にとって、この社会がより明るく、豊かなものになってほしいと思う。

【大牟田税務署長賞】

「『税金』に感謝」

福岡県立三池高等学校 荒尾 日佳里さん

2024年1月1日、石川県の能登半島でM7・6の大きな地震が起きた。記憶に新しいこの大きな地震は、新しい年の始まりであるお正月でお祝いムードの日本を恐怖と不幸で一変させた。テレビで放送されていた明るいバラエティー番組は放送を中断し、アナウンサーが必死に地震の危険性を、避難を呼びかける画面に切り替わった様子は、石川県から遠く離れた私の心も恐怖で包んだ。

能登半島地震から約8カ月。被災地では、少しずつ復興に向けて進んでいる、そんなニュースをネットで調べていると、ある1つの記事が目にとまった。それは「災害時に使われる税金」という記事だった。実際に私は避難しなければならないほどの大きな災害は経験したことない。しかし、日本で大きな災害が発生すると、警察や自衛隊が派遣され、仮設住宅により臨時の住まいができ、道路の補修やがれきの撤去などが行われる様子をテレビの前で当たり前かのように思いながら見ていた。しかし、これらの復興に向けての活動は当たり前なんかではない。警察や自衛隊が派遣されるのも、仮設住宅ができるのも、道路補修やがれきの撤去が行われるのも、私たちが普段払っている「税金」があつてこそなのだ。もしも今、私の住んでいる町で大きな災害が起きたとして、被害が出たとする。そんな時に警察や自衛隊が出動してくれたらどんなに心強いだろうか。

2019年10月1日、私たちの一番身近な税金である消費税が8パーセントから10パーセントへ引き上げられた。まだ小学生だった私は、いつもより少しだけお金を多く払うことが少し嫌だったと思う。だけど、今になってわかった。私たちが普段払っている税金は巡り巡って私たちのもとへ違う形でかえってきている。そして、必ず、かえってきた税金は私たちの暮らしの中でたくさんの支えとなってくれている。

私の祖母が言った。

「今は、税金のおかげで年金がまわってきて、生活できるんよ。本当ありがたいね。」

私はこれからも税金にたくさんお世話になるし、私が払った税金によって誰かを支えることができるかもしれない。だから、今は私のまわりで活躍してくれている税金に感謝して生きていきたい。

【福岡県大牟田県税事務所長賞】

「夢を支える税金」

福岡県立伝習館高等学校 田毎 綾花さん

2年前の夏。それは私にとって一生忘れられない宝物だ。

中学生の私は、硬式テニス部に所属していた。7人のうち6人が初心者であつた私たちが、「九州大会出場」という夢のような目標を掲げ日々練習に取り組んでいた。そして2年前の夏、私たちにとって最後の夏の大会で、その夢を叶えることができた。まさかまさかの結果に、みんなで泣き崩れたのを覚えている。

九州大会の舞台は「沖縄」。私が住んでいる福岡県からは、飛行機で約1時間半。また、予定される宿泊期間は4泊5日である。7人それぞれの家庭があり、私たちはどうしても金銭面に不安を感じていた。

しかしそんな時、市が費用を全額補助してくれるというお話をいただいた。このとき、九州大会に安心して参加できるようになったことへの感謝の気持ちで溢れた。また、地域の皆さんが私たちのことを応援し、見守ってくれているような気がして、嬉しさが込み上げてきた。より一層、「うれしい報告を持って帰らなくては」。と気合いが入った。

大会当日、私たちは緊張しながらも自分たちのベストを尽くし、後悔のないプレーをすることができたと思う。結果は予選敗退ではあつたが、新たな仲間との出会いがあつたり、心から悔しいと思えたり、チームメイトとの絆を深めたりすることができたあの夏は、私にとって一生忘れられないものとなった。

このような経験をすることができたのは、「税金」というものがあり、そしてそれを納めているたくさんの人がいたからこそできたのである。私はこのような出来事を体験して初めて、税金のありがたみを感じることができた。しかし振り返ってみると、毎日通っている学校も、練習をしていたあのテニスコートも、部活で腰を痛めた時に行った病院も、自分が気付いていないだけで、税金の支えで成り立っていたことに気づくことができた。私はずっと前から税金に支えられていたのだ。2年前の夏、私は税金のありがたみについても知ることができた。

そして、あれから2年たった今、私は税金という大切な資源を無駄にしないよう、夢に向かって勉強や部活動に励んでいる。何かに夢中になっている時でも、自分をサポートしてくれている存在を忘れてはいけない。私に限らず、すべての人が「税金」を通して誰かを支えており、そしてすべての人が「税金」を通して誰かに支えられているのだ。一人一人が税金が存在している意味を知り、自分が税金にどう関わっていくか考えるべきである。私はこれから、税金に感謝しながら生活するとともに、2年前私がしてもらったことのように、夢や目標を持つ人のお手伝いをできる人間になりたい。私にそう思わせてくれたあの夏は一生忘れることのできない宝物だ。

作品応募校へバレーボールを寄贈

「税に関する高校生の作文」(国税庁主催)に作品を応募された管内の高等学校(5校)に出向きバレーボールを贈呈しました。



福岡県立伝習館高等学校の様子

「税を考える週間」協賛講演会

大牟田法人会では、毎年、国税庁が様々な広報公聴施策を推進する「税を考える週間」に協賛して、法人会の公益事業と位置づけ、不特定の方々を対象に集客に努めながら、地域に公益をもたらす事業活動として講演会を開催し、税務行政の円滑な執行に寄与しています。会場内では、税に関するチラシの配布やポスター掲示などを行い、国民生活と税との係わりについて理解を深める取り組みを行いました。

★講師 宇梶 剛士 氏(俳優)

★演題 転んだら、どう起きる？

★日時 令和6年11月13日(水)

★会場 ホテルニューガイア オームタガーデン



■令和6年度 納税表彰

「納税表彰」は、申告納税制度の普及・発展に努め、納税道義の高揚に尽力された功績に対し、表彰が行われるものです。

◎大牟田税務署長感謝状(当法人会関係者は、次のとおりです。)

◎大牟田税務署長表彰(当法人会関係者は、次のとおりです。)



(公社)大牟田法人会 理事
藤木 尚文氏



(公社)大牟田法人会 理事
廣松 達次氏



(公社)大牟田法人会 青年部会
副部会長 古賀 毅氏

税務署からのお知らせ

書かない確定申告！ マイナンバーカードでe-Tax

確定申告書等作成コーナーなら金額等を入力するだけで**自動計算**で確定申告書が完成！



確定申告の作成は
こちらから



作成コーナー



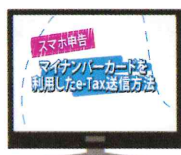
スマホ申告が
さらに**便利に**

確定申告書の作成画面が見やすく、
入力がしやすくなりました！

～申告に困ったときは～

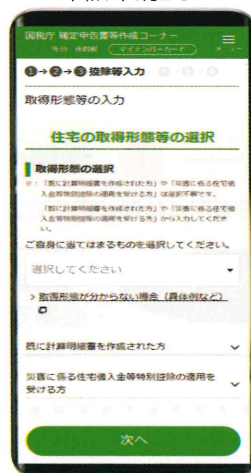
動画で見る確定申告

申告書の作成方法などを動画でご案内！



確定申告 動画

令和7年1月から



例：住宅ローン控除入力画面

マイナポータル連携で自動入力

～マイナポータル連携のメリット～

- ✓ 医療費の領収書等の収集や集計が不要
- ✓ 確定申告書の該当項目へ自動入力
- ✓ 作成した確定申告書をe-Taxで送信
- ✓ 書類の管理・保管が不要



マイナポータル連携
の詳細はこちら



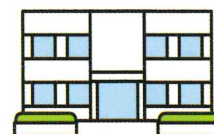
証明書等のデータ

マイナポータル経由で
データを一括取得



確定申告書に
自動入力・自動計算

ご自宅から
e-Taxで送信



税務署

確定申告会場は、2月17日（月）から開設します

確定申告会場では、スマートフォンをお持ちの方は、原則、

ご自身のスマートフォンにより、申告書の作成を行っていただきます。

所得税・贈与税の申告と納付は **令和7年3月17日（金）**まで

個人事業者の消費税の申告と納付は **令和7年3月31日（月）**まで

◆◇ご来場の際は次のものをお持ちください◆◇

① 源泉徴収票などの確定申告書作成に必要な書類

② **マイナンバーカード**

③ マイナンバーカードのパスワード

💡 **利用者証明用電子証明書（数字4桁）**

💡 **署名用電子証明書（英数字6文字以上16文字以下）**

④ **マイナポータルアプリ**

※事前にマイナポータルアプリをインストールしていただくとスムーズに申告相談を行えます。➡



会場への入場には「入場整理券」が必要です。

入場整理券の配付状況に応じて、早めに受付を終了し、後日の来場をお願いすることもあります。

配付方法

- ・LINEアプリによる事前発行（来場希望日の10日前から申込可能）
- ・会場で当日配付



「国税庁」LINE公式アカウントを友だち追加♪

【確定申告会場】

会場

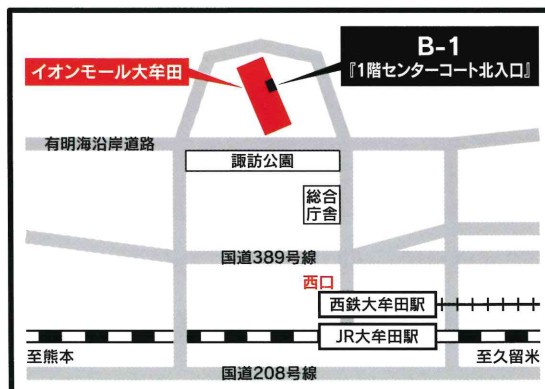
イオンモール大牟田2階イオンホール
大牟田市岬町3-4

期間

令和7年2月17日（月）
～令和7年3月17日（月）
※ 土・日曜日・祝日は休みとなります。

受付

午前9時～午後4時



※午前9時から午前10時の間は、

『B-1（1階センターコート北入口）』から、ご入場ください。

専門店街の開店時間は午前10時のため、他の入口からは、ご入場できません。

ご不明な点等は、お電話で問い合わせることができます

国税相談専用ダイヤル
(0570) 00-5901
又は
大牟田税務署
(0944) 52-3245

【開設期間：令和7年1月16日（木）～3月17日（月）】

所得税・消費税・
贈与税の確定申告
に関するお問合せ



【確定申告テレホン
センターの担当者
におつなぎします。】

※税務署からの照会やお尋ね、納付に関するご相談など、税務署へご用の方は、大牟田税務署に電話して、音声案内「2」を選択してください。

チャットボット
での相談



税務職員ふたば



ご質問を入力いただければ、AIを活用した「税務職員ふたば」が回答！

* 税制及び税務に関する調査研究並びに提言に関する事業 *

全国の中小企業の租税負担の軽減と合理化・簡素化及び適正公平な課税、税制・税務に関する提言を目的として、法人会全国大会（鹿児島大会）で決議された「税制改正に関する提言」について、行政等の関係機関に対して要望活動を行いました。

◆第40回法人会全国大会（鹿児島大会）◆



日 時 令和6年10月3日(木)
全国大会では、法人会としての「令和7年度税制改正」に関する提言が取りまとめられました。

◆令和7年度税制改正提言活動◆



日 時 令和6年11月14日(木)
「令和7年度税制改正に関する提言」について、大牟田市長・大牟田市議会議長・地元選出国会議員に対し要望活動を行いました。

* 税知識の普及を目的とする事業 *

■第38回 全国青年の集い(福井大会)



・日 時 令和6年11月7日(木)～8日(金)
・会 場 フェニックスプラザ(福井市)、サンドーム福井(越前市)
今後の事業推進のために「租税教育活動プレゼンテーション」等に参加し、全国の租税教育事業について学びました。

■租税教室 講師等反省会



・日時 令和6年9月5日(木) ・会場 大牟田商工会館
令和6年度の「租税教室」(6月3日～7月18日)について、感想や改善点を1人ずつ発表し、問題点などを共有しながら、今後のより良い活動に繋げるために反省会を実施しました。

* 納税意識の高揚を目的とする事業 *

■税に関する絵はがきコンクール

大牟田税務署管内の小学6年生を対象に作品を募集し、優秀作品の選考会を行いました。



選考会 令和6年10月29日(火)

金賞作品



・応募校: 13校
・応募作品数: 404作品

銀賞作品



銅賞作品



■税金クイズ

「税」を身近に感じる機会の提供とともに、納税意識の高揚を図るため、「税金〇×クイズ」を実施しています。

【まるごとみやま市民まつり】

・日 時 令和6年11月24日(日)
・会 場 みやま市総合市民センター



* 活動報告 *

地域企業の健全な発展を支援することを目的として、税務・労務管理等をテーマとしたセミナー・講座等を開催しました。

■改正税法説明会(大牟田会場)



・日 時 令和6年8月23日(金)
・講 師 大牟田税務署法人課税部門担当官
・会 場 大牟田文化会館

※みやま会場(8月29日開催予定)は、台風のため中止
(参加申込者には、後日資料の配布)

■改正税法説明会(柳川会場)



・日 時 令和6年8月28日(水)
・講 師 大牟田税務署法人課税部門担当官
・会 場 柳川商工会館

■決算説明会(決算期:10・11・12・1月決算法人)



・日 時 令和6年10月8日(火)
・講 師 大牟田税務署法人課税部門担当官
・会 場 大牟田文化会館

■年末調整説明会(定額減税対応)



・日 時 令和6年11月26日(火)
・講 師 大牟田税務署法人課税部門担当官
・会 場 大牟田文化会館(小ホール)

■労務管理セミナー

(テーマ:仕事ができる人を辞めさせない15分のマネジメント術)



・日 時 令和6年10月24日(木)
・講 師 メンタルチャージISC研究所(株) 代表 岡本文宏 氏
・会 場 だいふく

■相続対策セミナー

(テーマ:相続トラブルを起こさないために準備しておくこと)



・日 時 令和6年12月5日(木)
・講 師 大牟田公証役場 公証人 熊谷浩一 氏
・会 場 だいふく

* 視察研修会 *

地域企業の健全な発展に貢献することを目的として、経営に関するものから、身近な知識を身につけるため、幅広く研修会や啓もう活動を行っています。

■ 柳川支部視察研修会 令和6年10月9日(水)



【視察先】洞海湾クルージング、溝上酒造（北九州市）

■ みやま支部視察研修会 令和6年11月12日(火)



【視察先】麒麟ビール福岡工場(甘木市)、梅酒蔵おおよま(日田市)

* 地域社会貢献活動に取り組む *

地域との共生を目指した地域社会への貢献として、地域の発展・まちづくり・文化の向上等に係る支援を行いました。

■ あいさつ日本一運動 「小学生チャンピオン大会」への支援



寄 贈 先 みやま市さいさつ日本一運動推進委員会

寄 贈 日 令和6年11月23日(土)

事業内容／青少年健全育成への環境づくりのためみやま市をあげて「あいさつ運動」の取組みを行っており、この運動に対する支援を行いました。

おはよう
ございます!



■ 大牟田支部視察研修会 令和6年10月30日(水)



【視察先】洞海湾クルージング、皿倉山（北九州市）

* 会員交流事業 *

「会員交流事業」は、部会員同士の親睦交流を図り、部会活動の活性化を目的として実施しています。

■ 女性部会研修会 令和6年10月7日(月)/場所:だいふく



【講 師】大牟田税務署長 向井 真人 氏

【テーマ】税務行政の経験から

■ 青年部会視察研修会 令和6年10月2日(水)



【視察先】大山ダム、サッポロビール日田工場(日田市)

■ 青年部会視察研修会 令和6年10月16日(水)/場所:ランヴィエール勝島



【講 師】大牟田税務署長 向井 真人 氏

【テーマ】税務行政の経験から

* 研修会・講演会等の開催ご案内 *

* 1月から3月にかけて開催される研修会等のお知らせです。(詳細は法人会事務局へ ☎ 0944-51-7564)

☆ 確定申告啓発事業「新春講演会」 ☆



【演題】

私が社長です

【講師】

元谷 芙美子 氏

(アパホテル株式会社取締役社長)

一般公開
聴講無料

日時

令和7年1月27日(月)

開場 13:30 開演 14:00

会場

御花 (柳川市新外町1)

定員

120名 定員になり次第締めきります。

※公共交通機関をご利用ください。(駐車場はありません。)

【講師紹介】

福井県福井市生まれ。福井県立藤島高等学校卒業後、福井信用金庫に入社。22歳で結婚し、翌1971年、夫の元谷外志雄が興した信金開発株式会社(現アパ株式会社)の取締役に就任する。1994年2月にアパホテル株式会社の取締役社長に就任。会員制やインターネット予約システムをいち早く導入し、全国規模のホテルチェーンへと成長させる。2006年早稲田大学大学院公共経営研究科修士号を取得し、2011年には同博士課程を修了。現在、アパホテル株式会社取締役社長をはじめ、アパグループ11社の取締役、日韓文化協会顧問、株式会社SHIFT社外取締役、株式会社ティーケービー社外取締役を務める。また、全国各地からの講演依頼にも意力的に取り組み、地域社会の活性化に努めている。アパホテルネットワークとして全国最大の876ホテル126,691室(建築・設計中、海外、FC、アパ直参画ホテルを含む/2024年10月16日現在)を展開。年間宿泊数は約2,116万名(2020年11月期末実績)に上る。

☆健康講座

抗ストレス・メンタルヘルスの笑いと運動!

～笑いヨガ・脳トレ体操実技～

笑いヨガ・脳トレ体操は抱腹絶倒!“お笑い”でない“笑い”で会場を沸かせます。肩が上がらなくても、膝が痛くても有酸素運動ができる“笑いヨガ”を是非、体験ください!

1/23(木) 14時30分～16時00分

場 所 新みなと(大牟田市本町)

講 師 佐藤 昌久 氏(ウエルネスサポート代表)

受 講 料 無料

☆経営支援セミナー

～運を切り開く文字の書き方～

菅元総理大臣が新年号を発表した時に掲げていた「令和」を揮毫した書家が語る心を豊にする文字とは?書かれた文字から人は何を読み取っているのか?文字にはその人の“気”が現れます。何気なく書いている文字を運を呼ぶ美文字に変えてみませんか?

3/11(火) 14時00分～16時00分

場 所 だいふく 5F 大牟田市有明町

講 師 茂住 菁郎 氏(書家・元内閣府大臣官房人事課辞令専門官)

受 講 料 会員:500円、一般:2,000円

☆新設法人説明会

新設法人を対象として、法人税・消費税・源泉所得税等の概要について説明します。

2/5(水) 13時30分～15時30分

場 所 大牟田文化会館 3F「第4会議室」

講 師 大牟田税務署 法人課税部門担当官

受 講 料 無料

内 容 新設法人

☆決算説明会(決算期2・3・4・5月法人)

決算期を控えた法人企業の事前準備と決算申告にあたっての留意点等をわかりやすく説明します。

2/14(金) 13時30分～15時30分

場 所 大牟田文化会館 3F「研修室」

講 師 大牟田税務署 法人課税部門担当官

受 講 料 無料

内 容 法人税・消費税及び源泉所得税等の概要について

★大好評!★

インターネットセミナー

大牟田法人会のホームページに、いつでもどこでも受講できる「インターネットセミナー」を開設しています。大牟田法人会会員であれば600以上のタイトルから、映像と音声による本格的なセミナーが受講できます。

視聴には、「**会員専用のID**」と「**パスワード**」が必要です。